



Progressive As **We** Go
常に前向きであれ

2026年5月期 第1四半期 決算補足資料



当社のスマイルアート(障がい者アート)レンタルに
作品提供頂いているアーティストの作品

株式会社 レント

証券コード 372A

2025年10月15日

目次

1. 2026年5月期 第1四半期 決算概要 3P~
2. appendix 7P~

1. 2026年5月期 第1四半期 決算概要

経営環境

国内景気は不透明感 建設投資は増加

国内景気

- 企業収益の改善に足踏みが見られるも、設備投資・個人消費が持ち直し
- 物価上昇の継続や海外景気下振れ懸念により、先行き不透明な状況で推移

建設投資

- 民間の建築投資は減少するも、全体としては前年を上回る状況で推移

取り組み

成長投資を継続 バリュープラスサービスを拡大

- 都市部及び需要地の顧客開拓・深耕
- バリュープラスサービスにかかる売上高増加
- レンタル資産保有量の増強・単価の見直し

業績

利益率を維持しながら、売上高は9.2%成長

- 売上高は126億円(9.2%成長) 営業利益は11億円(利益率は維持)
- 上場に伴う新株式の発行により、レンタル資産を中心とした設備投資を実施

2026年5月期 第1四半期業績 ～売上・利益



レンタル資産保有量の増強・単価の見直しに努め、利益率を維持しながら、売上高は9.2%成長

単位:百万円	2025/5期 1Q(参考)	2026/5期 1Q	増減率	2026/5期 業績予想	増減率	2026/5期 進捗率
売上高	11,600	12,667	+9.2%	54,000	+10.0%	23.5%
営業利益	1,023	1,126	+10.0%	4,300	+10.1%	26.2%
利益率	8.8%	8.9%		8.0%		
経常利益	885	986	+11.4%	3,750	+8.9%	26.3%
利益率	7.6%	7.8%		6.9%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	590	690	+16.9%	2,600	+4.0%	26.6%
利益率	5.1%	5.4%		4.8%		

2026年5月期 第1四半期業績 ～貸借対照表



上場に伴う新株式の発行により、レンタル資産を中心とした設備投資を実施

単位:百万円	2025/5期末	2026/5期 1Q末	増減額	備考
総資産	57,910	59,416	+1,505	・現金及び預金+134 ・受取手形及び売掛金+523 ・レンタル用資産+537 ・有利子負債▲939 ・上場に伴う新株式発行+2,496 ・財務比率改善
流動資産	16,076	17,139	+1,062	
固定資産	41,833	42,276	+442	
(うちレンタル資産)	23,482	24,019	+537	
負債	42,674	41,572	▲1,101	
有利子負債	29,309	28,370	▲939	
純資産	15,235	17,843	+2,607	
自己資本比率	25.8%	29.6%		
ネットD/Eレシオ	1.5倍	1.2倍		

2. appendix

数字で見るレント



連結レンタル商品保有数



2025年5月末時点
約7千種
60万台超

連結社員数



2025年5月末時点
1,550人超

海外進出国数



2025年5月末時点
ASEAN
3か国

連結営業拠点



2025年5月末時点
営業所・出張所
71か所



営業拠点: レント 西淀川営業所

連結整備拠点

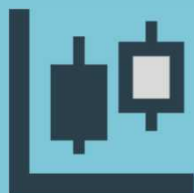


2025年5月末時点
18か所



整備拠点: レント 名古屋管理センター

連結売上高



2025年5月期
490億円
+12.4%
2024年5月期対比

連結経常利益



2025年5月期
34億円
+23.2%
2024年5月期対比

連結総資産



2025年5月末時点
579億円
+12.9%
2024年5月末対比

企業理念

私たちは限りある資源を有効に活用し 新鮮な提案力と高度なサービス力を通して豊かな社会創りに貢献し続けていくことを使命とします

経営方針

私たちは、「新しい価値を創るワンストップコーディネーター」として、「持続可能な社会への貢献」と「持続的な企業価値の向上」の両立を目指します

- 1 高付加価値なレンタルサービスを提供することにより、お客様の満足と、バリューチェーン全体の相互発展を実現します
- 2 人権と人財の多様性を尊重するとともに、安心・安全で働き甲斐のある職場づくり、社会に貢献できる人づくりを行い、あわせてステークホルダーとの信頼関係強化に努めます
- 3 循環型社会の実現に寄与するとともに、インフラレジリエンスの強化や、環境保全などに関わり、地域との共存共栄を図ります

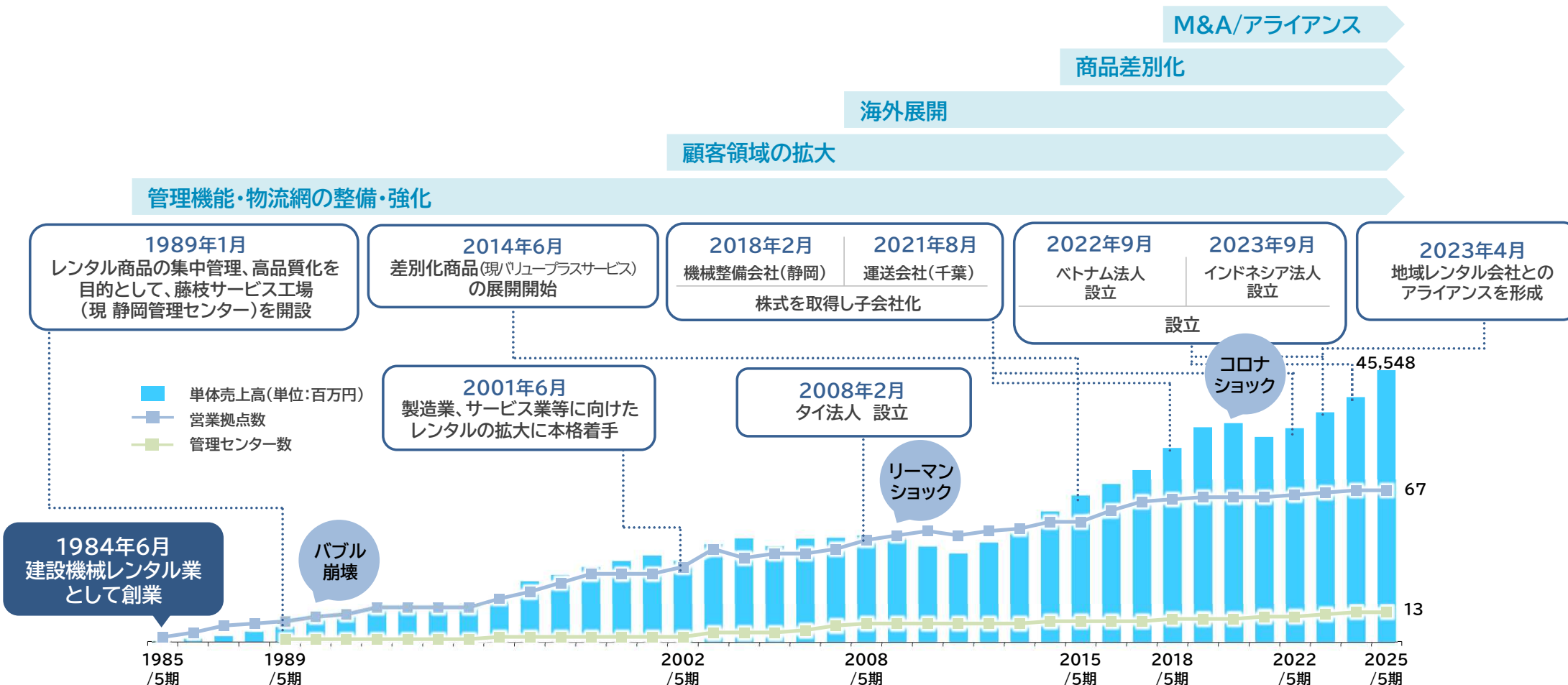
行動指針

- 1 柔軟な発想・工夫・実行力をもってお客様の信頼獲得を目指します
- 2 環境・安全・効率をキーワードとして、お客様により満足いただけるサービスを常に提供します
- 3 より多くの分野のお客様にレンタルシステムを活用していただくことを目指します
- 4 強い結束力を持ち、組織力を最大限に発揮します

スローガン

Progressive As **We** Go
常に前向きであれ

1984年6月に創業後、外部環境に対応しながら業容を拡大



建設機械に加えて、産業機械・各種ツールなどへと広がるレンタル事業



幅広いラインナップで “何でも揃う”レンタルメリットの追求

- 基盤となる**建設業界**向けレンタル
- 幅広いラインナップで「所有するより借りる」レンタルメリットを実感いただき、経営の合理化に貢献
- 以前より更に、環境・安全・効率が求められる中で、それらを重視した幅広い商品展開とご提案によって、課題解決に貢献



“より多くの
分野のお客様”
にレンタルを

- 早くからレンタルシステムの活用が定着した建設業界と違い、**製造・物流・プラントなどの業界**には、「所有するより借りる」という考え方が普及していなかった
- 当社は2000年代はじめから、
“より広くレンタルシステムをご紹介します、お客様の経営の合理化に寄与する”という方針のもと、この分野のレンタル事業化に挑戦

豊富なレンタル商品を保有し、顧客に一日単位でレンタルを提供



※新品購入価格ベースでの商品構成比、2025年5月末時点

グループ拠点・ネットワーク(国内)



国内都市圏や工業地帯を中心としたレンタルニーズが大きいエリアに出店し、
レンタル総合サービスをグループで提供

本社(静岡) / 東京支社 / 名古屋オフィス

営業拠点
69 箇所

整備拠点
13 箇所

グループ会社
3 社

アライアンス先
3 社

営業所・出張所 65 箇所

広域事務所 1 箇所
教習センター 2 箇所
アート部門 1 箇所

2025年12月 神戸営業所
2026年3月 柏営業所
2026年6月 加古川営業所
一宮営業所

管理センター 11 箇所
測機工具センター 1 箇所
BRSセンター 1 箇所
(ほか各地にデポ、カーケアセンター)

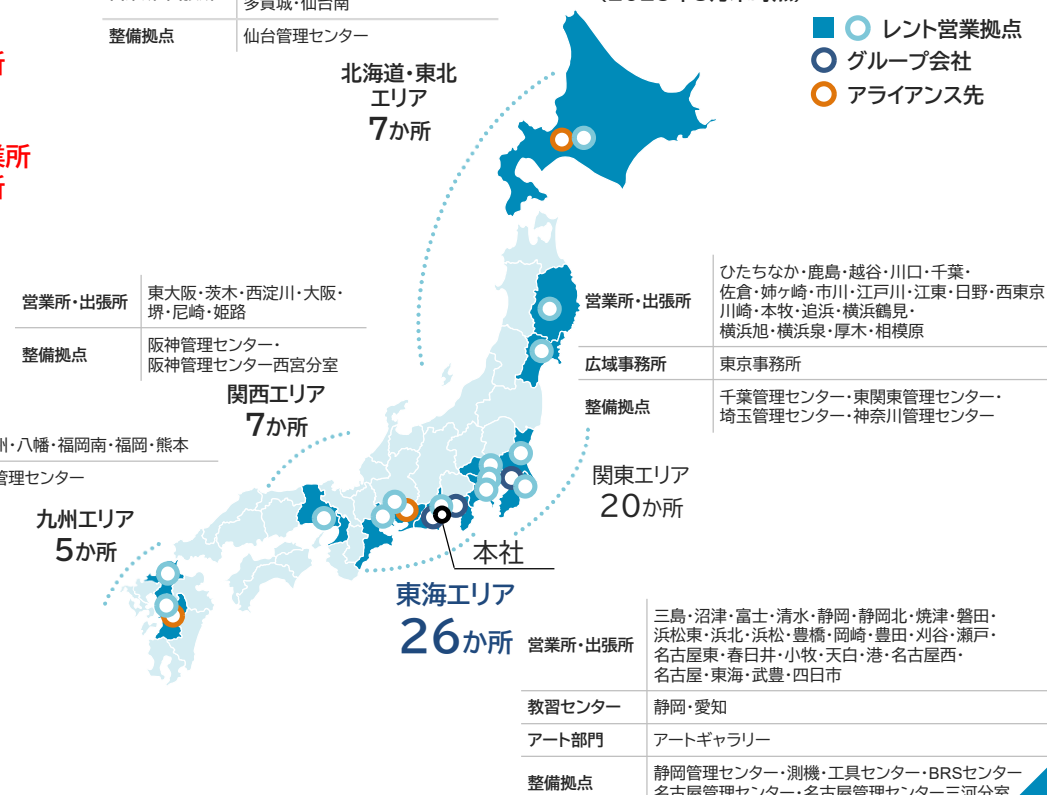
運送事業
・レント総合サービス(株) 6 箇所
・(株)アテックス 1 箇所
自動車
整備事業
・(株)三光塗装钣金工業 3 箇所

熊本中央リース株式会社(熊本)
片桐機械株式会社(北海道)
レントック大敬株式会社(愛知)

営業所・出張所 苫小牧・北上・石巻・仙台北・仙台・多賀城・仙台南
整備拠点 仙台管理センター

(2025年8月末時点)

■ レント営業拠点
● グループ会社
○ アライアンス先



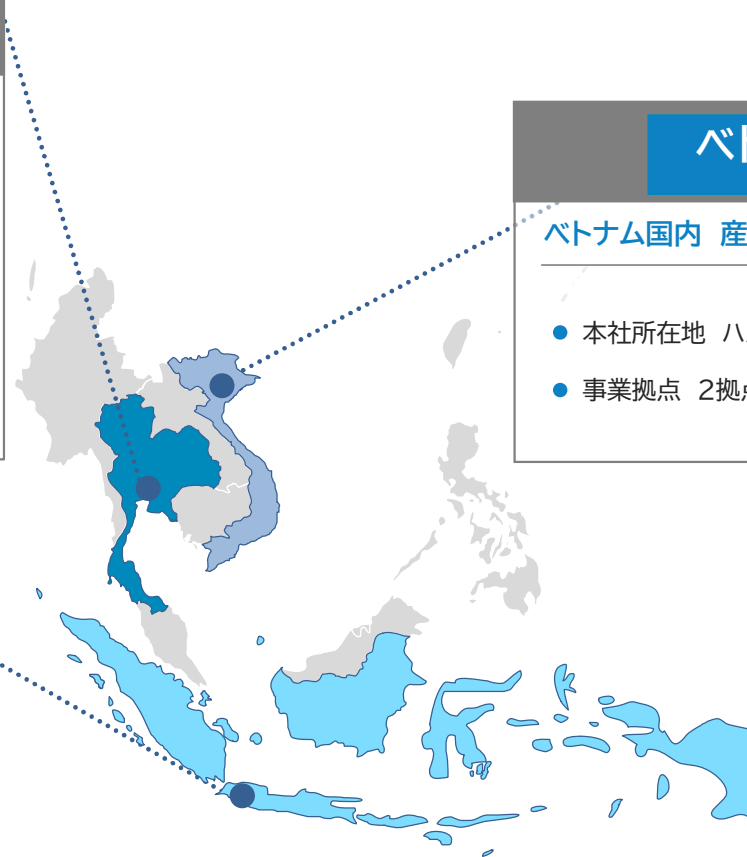
※各エリアの数は営業所・出張所ベース

グループ拠点・ネットワーク(海外)



タイ・ベトナム・インドネシアにてグループ会社を展開し、ASEANの需要を取り込み

タイ法人 2008年	タイ法人 2007年
タイ国内 産業機械・建設機械のレンタル 	海外におけるレンタル事業サポート 
● 本社所在地 バンコク ● 事業所数 7拠点	● レンタル商品調達、中古機械の販売 ● 運送事業、機械オペレーター派遣事業 ● 機械操作に関する教習事業

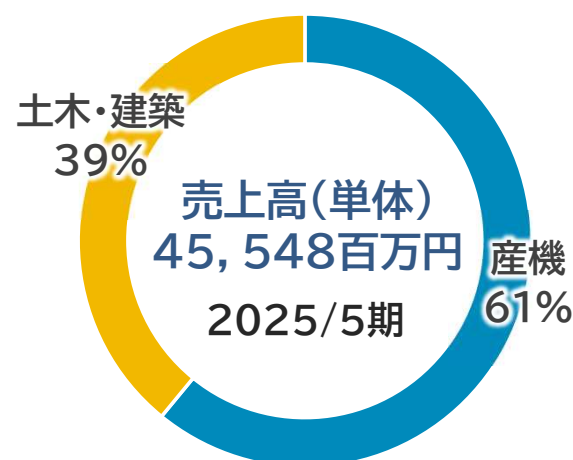


ベトナム法人 2022年
ベトナム国内 産業機械・建設機械のレンタル 
● 本社所在地 ハノイ ● 事業拠点 2拠点

インドネシア法人 2023年
インドネシア国内 産業機械・建設機械のレンタル 
● 本社所在地 タンゲラン (ジャカルタ近郊) ● 事業拠点 2拠点

当社は一般的な土木・建築工事現場向けレンタルに加え、
他社と異なる顧客領域である産機分野にも注力

顧客業種別売上高構成比



土木・建築を基盤に
産機も順調に拡大

ポイント ①

バランスの良い顧客構成

- 建機分野と産機分野は顧客層に違いあり
- バランスの良い顧客構成とすることで、公共投資と民間投資のどちらかに、過度に依存し過ぎない安定的な経営が可能
- どちらの顧客も使用する商品あり、稼働率向上にも寄与

ポイント ②

産機分野にも注力するメリット

- 産機分野はレンタルシステムの活用が定着していない業界もあり、新たな市場の開拓余地あり
- 産機系商品の管理には特殊な設備やノウハウが必要だが、当社は管理センターでの集中管理に強みがあるため、先行者利益を得やすい

バリュープラスサービス



レンタルに付随した「バリュープラスサービス」の提供により、総合的に顧客の事業の効率化に寄与

レンタル事業を通じて蓄積し続けてきた
多種多様な機器の

有効な活用ノウハウ

レンタル資産の修理・メンテナンスを
通じて築き上げてきた

機械整備力

バリュープラスサービス

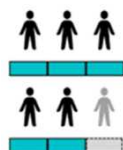
資源有効活用・
環境保護・
コスト削減



法令遵守・安全



効率改善、
省力化・省人化



事故防止・
作業の安全性向上



労働衛生・
環境保全



正確かつ適切な
作業の実現



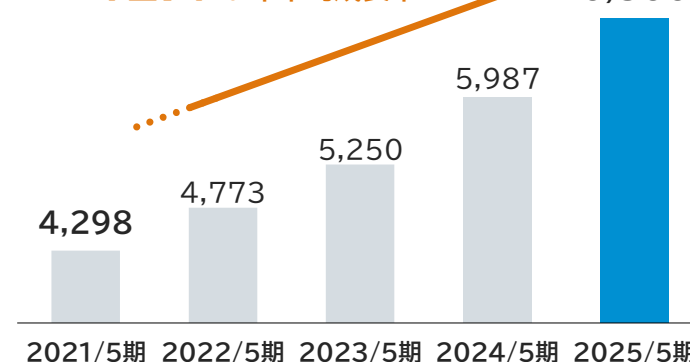
高度な
清浄度管理



バリュープラスサービスに係る売上高

(単位:百万円)

+12.4% 年平均成長率



- 収益性が高く、利益に貢献している商品群
- バリュープラスサービスを起点として様々な顧客にリーチし、汎用品の売上増加にも繋げている

「バリュープラスサービス」 ～事例



バッテリー評価試験・再生サービス

- 当社が保有する特許技術BRSは、バッテリーの劣化状態を数値で把握し、化学反応で再利用可能にする唯一無二の技術
- 劣化したバッテリーを再生することでコスト効率と環境負荷軽減の両面で、お客様に貢献



法令遵守・安全に資する教習サービス

- 危険または有害な業務に付く場合、「労働安全衛生法などで定められた教育を受けた者でなければ、これら業務に就くことはできない」ことが定められている
- 自社がもつ車両や機械の運用ノウハウを活かして、静岡・愛知労働局長認定の登録教習機関を運営し、お客様の「安全のトータルサポート」のための各種講習を実施



作業の効率改善、省力化・省人化に資するレンタルサービス

- ケーブル延線工事の際、インバーター制御の延線ボールを活用した連動送り出し工法を推奨
- レンタルするのみでなく、専門の知識を持った営業マンが現場調査、最適な機種・数量・設置場所の提案を行い、必要に応じた工事立ち合いによるアドバイスを行うことで省力化・省人化・安全性の確保を実現



事故防止・作業の安全性向上に資するレンタルサービス

- レーザーカーテンは四角いエリアセンサーを展開し、センサー内の物体進入時に回転灯と音声で注意喚起を行う当社独自の検知システム
- 橋梁下や線路際での作業、接触防止・監視作業を改善し、事故防止・作業の安全性向上に貢献



「バリュープラスサービス」 ～事例



労働衛生・現場周辺の環境保全に資するレンタルサービス

- 独自の有害物質除去システムによる法令準拠の高いサービス品質
- 法令準拠が必要な代表的有害物質5種(鉛・PCB・アスベスト・RCF・ダイオキシン)に対応



機器 検査校正サービス

- 専門の検査装置を用いた試験により安全・高品質を追求
- 検査・校正・点検・定格荷重負荷試験のアウトソーシングも対応



クリーンルーム対応サービス



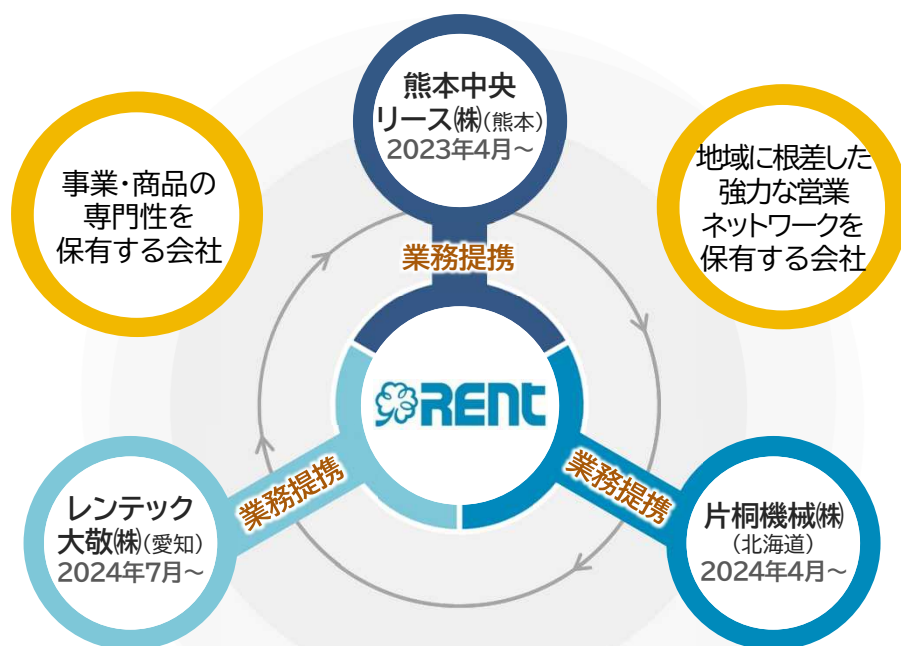
- 自社にクリーンブースを保有、整備力の高さが必要とされる他社が扱いの難しいレンタル機器を提供
- Class6レベルまでの清浄度に対応可能
- お客様の資材・機器の清掃や梱包作業を請け負い可能
- 通常はクリーンルームでの使用が困難な一般の資材・機器も、高品質レベルのクリーン化清掃により対応することが可能
- 清浄度クラスに合わせて清浄・清掃・梱包



当社独自の戦略であるアライアンスにより、持続的な成長を実現

各社の成長のためのシナジー効果を追求した業務提携の輪

連携内容 レンタル商品・設備・物流・人材・技術・情報・ノウハウの相互活用



アライアンス企業の拡大、連携内容の拡充に取り組む

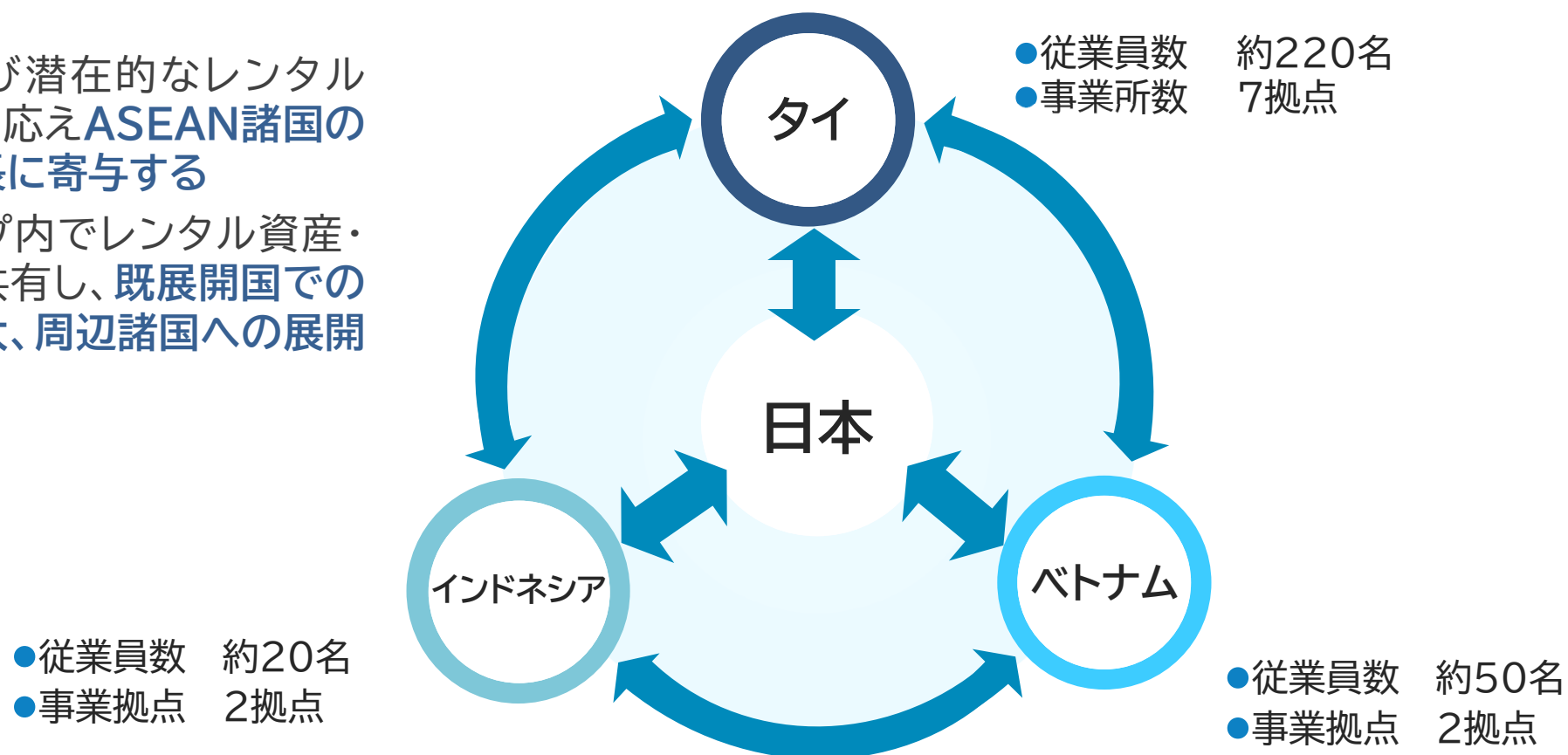
アライアンスの特徴

- アライアンス企業の特徴
 - ① 地域に根差した強力な営業ネットワークを保有する会社
 - ② 事業・商品の専門性を保有する会社
- 現場対応力の高い企業とアライアンスを組み、**グループのネットワーク拡大や産機分野・バリュープラスサービス拡販を図ることで、持続的な成長につなげる**
- 経営の独立性を維持しながら相互に機能を補完し合うことを目的とするが、提携関係を補完するため、一部のアライアンス企業とは資本関係を構築

レンタル業界は規模を拡大する全国ネット企業と現場対応力の高い企業に二極化が進むなか、当社はアライアンスの輪を拡大し、レンタル業界の第三極を形成していく

ASEANの各国レンタル需要の開拓とレンタル資産・人材のグループ内での共有化を推進

- 既存及び潜在的なレンタルニーズに応え**ASEAN諸国**の経済成長に寄与する
- グループ内でレンタル資産・人材を共有し、**既展開国**での規模拡大、**周辺諸国**への展開を図る

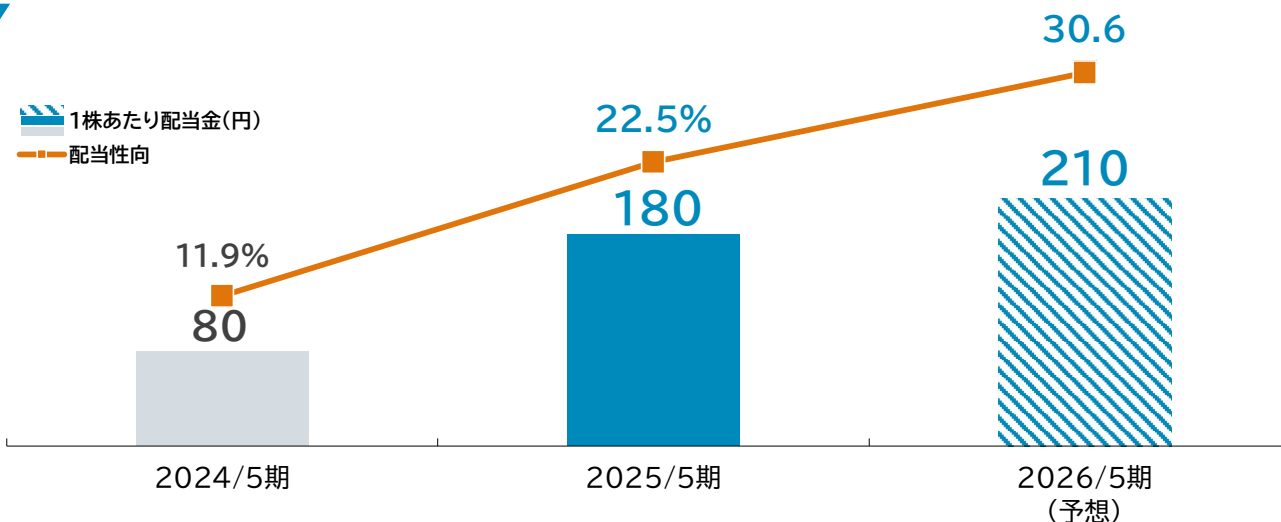


配当性向は22.5%まで引上げを実現、2026/5期には30%を目指す

配当方針

- 株主に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと位置付けている
- 経営基盤強化のため、負債とのバランスを踏まえて内部留保の充実を図りつつ、継続的かつ安定的な配当を行い、また業績に応じた適切な配当水準を確保する
- 配当政策は株主の皆様との建設的な対話を重ね、機動的・弾力的に検討していく

配当性向



※1:2026/5期の事業年度において、上記の配当性向による剰余金の配当等が行われることを保証するものではありません。

【ディスクレマー】

本資料は、株主・投資家などの皆さまに 当社の財務状況、経営方針などの情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれている場合があります。こうした記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の業績は環境の変化などにより、将来に関する記述に明示または黙示された予想と大幅に異なる可能性があることにご留意ください。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な統計等第三者情報についての正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社レント IR担当

TEL:054-265-2201

URL:<https://ir.rent.co.jp/irsupport/contact>